

医療事故情報収集等事業 第30回報告書のご案内

1. 報告の現況

(1) 医療事故情報収集・分析・提供事業 (対象：平成24年4月～6月に報告された事例)

表1 報告件数及び報告医療機関数

		平成24年			合計
		4月	5月	6月	
報告義務 対象医療 機関	報告件数	183	163	186	532
	報告医療 機関数	144			
参加登録 申請医療 機関	報告件数	53	14	27	94
	報告医療 機関数	27			
報告義務対象医 療機関数		273	273	273	-
参加登録申請医 療機関数		617	618	621	-

第30回報告書33～36頁参照

表2 事故の概要

事故の概要	平成24年4月～6月	
	件数	%
薬剤	31	5.8
輸血	0	0.0
治療・処置	152	28.6
医療機器等	13	2.4
ドレーン、チューブ	37	7.0
検査	20	3.8
療養上の世話	222	41.7
その他	57	10.7
合計	532	100.0

第30回報告書42頁参照

(2) ヒヤリ・ハット事例収集・分析・提供事業 (対象：平成24年4月～6月に発生した事例)

- 1) 参加医療機関数 1,063 (事例情報報告医療機関数 577施設を含む)
- 2) 報告件数 (第30回報告書58～63頁参照)
 - ①発生件数情報報告件数：178,677件 (報告医療機関数 470施設)
 - ②事例情報報告件数：7,349件 (報告医療機関数 76施設)

2. 医療事故情報等分析作業の現況

従来「共有すべき医療事故情報」として取り上げた事例に、さらに分析を加え、「個別のテーマの検討状況」の項目で取り上げています。今回の個別のテーマは下記の通りです。

- (1) MRI検査に関連した医療事故 【第30回報告書 86～116頁参照】
- (2) 自己管理薬に関連した医療事故 【第30回報告書 117～141頁参照】
- (3) 患者持参薬が院内不採用であることに気付かず、薬剤の頭3文字検索で表示された他の薬剤を処方した事例 【第30回報告書 142～150頁参照】
- (4) 組み立て方を誤った手動式肺人工蘇生器を使用した事例 【第30回報告書 151～157頁参照】
- (5) 東日本大震災による影響を一因とした事例 【第30回報告書 158～163頁参照】

3. 再発・類似事例の発生状況 (第30回報告書164～174頁参照)

これまで個別テーマや「共有すべき医療事故情報」、「医療安全情報」として取り上げた内容の中から再発・類似事例が発生したものを取りまとめています。今回取り上げた再発・類似事例は下記の通りです。

- (1) 「ガベキサートメシル酸塩使用時の血管外漏出」 (医療安全情報No. 33) 【第30回報告書 166～169頁参照】
- (2) 「抜歯部位の取り違え」 (医療安全情報No. 47) 【第30回報告書 170～174頁参照】

*詳細につきましては、本事業のホームページ (<http://www.med-safe.jp/>) をご覧ください。